

■研修内容	
コース名	基礎からわかる脱炭素（カーボンニュートラル）、エシカル対応
対象者	GX関連に興味がある企画担当者、PR、IR担当、商品開発の現場、支店支社などの運営者
日程・時間数	随時開催、約1.2時間
研修実施場所	オンライン・対面
受講費用（定価）	1人当たり40万円
受講レベル	入門
最小催行人数	10名

■研修カリキュラム				
回数	時間	レベル	学習内容	実践内容
1	3	統合版入門編	<p>カーボンニュートラル（CN）入門～気候変動の実態とCNの必要性を理解する～</p> <p>日本政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しています。この政府宣言を受けて企業においてもカーボンニュートラルを目指す取り組みが求められており、とくに上場企業では早急な対応が必要です。上場企業は取引先やさらにその取引先においてもカーボンニュートラルへの対応を要求し始めています。つまり多くの企業が無関係ではいられないこととなります。本講座ではカーボンニュートラルを取り巻く国際情勢、政府の取り組みから企業が求められることをわかりやすく解説します。</p>	<p>【オンライン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①SDG、ESGとは？ 15分 ②エシカル消費とは？ 15分 ③地球温暖化の背景 10分 ④カーボンニュートラルとは？ 10分 <p>【オンラインワークショップ】 説明20分⇒実践30分⇒発表・講評60分⇒まとめ10分</p> <ul style="list-style-type: none"> ①自社・自分の技術やサービスの現状でエシカル、CNなどで何ができるか？ ⇒実は出来るエシカルアクション（温故知新） ②今後できることが無いか、サービスや商品の延長上で ⇒商品とサービスを通じて消費者とできること無いかな？ ③自社・自分に足りない部分は何か？ ⇒オープンイノベーション、連携を通じて補完しあえる部分は？
2	3	統合版上級編	<p>グリーンTRANSフォーメーション 政府が目指すGXリーグの実態と課題と最新動向</p> <p>グリーンTRANSフォーメーションの概要や政府が進めるGXリーグの取り組み、成功事例、課題と今後の展望などについて詳しく解説します。最初に、グリーンTRANSフォーメーションの定義と目的について紹介し、GXリーグとは何か、GXリーグの具体的な取り組みとその効果について解説します。国内外の企業のグリーンTRANSフォーメーション事例を挙げ、成功の要因についても詳しく解説します。受講者はGXについて理解を深め、自社の取り組みに役立てることができるようになります。</p>	<p>【オンライン】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. グリーンTRANSフォーメーション（GX）とは？ 20分 - GXの定義と目的、グローバルおよび国内のトレンドを解説。 2. 政府が目指すGXリーグの実態 15分 - GXリーグの概要、参加企業の取り組み事例とその効果について紹介。 3. GXリーグの課題と今後の展望 20分 - 現状の課題、企業が直面する障壁とその克服方法を解説。-加盟企業でないのに準拠すべき理由 組織の考え方、組織の登録、モニタリングポイント、レポートの考え方 4. 国内外のGX成功事例 20分 - 国内外でGXを成功させた企業の事例を取り上げ、成功要因を分析。 <p>【オンラインワークショップ】</p> <p>説明20分⇒実践30分⇒発表・講評60分⇒まとめ10分</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自社・自分の技術やサービスの現状におけるGXの取り組み - 実践: 自社の現状でGXやカーボンニュートラルにどのように対応しているかを分析。 - 発表 実際に行っているGXの取り組みや今後の可能性について発表。 - 講評: 講師からのフィードバックを受ける。 2. 今後できるGX施策の検討 - 実践: 既存のサービスや商品の延長で、新たに可能なGX施策をグループで話し合う。 - 発表: グループごとに、消費者や顧客との連携を踏まえたGX施策を発表。 - 講評: 具体的な実践方法について講師からフィードバックを受ける。 <p>3. **自社に足りない部分の特定とオープンイノベーション** - **実践**: 自社に不足している技術やリソースを洗い出し、他社やパートナーとの連携によって補完できる部分を探る。 - **発表**: 連携先の候補やオープンイノベーションの可能性を発表。 - **講評**: 講師から、連携を強化するための具体的なアプローチ方法についてのアドバイスを受ける。</p> <p>4. **まとめ** - ワークショップ全体の内容を振り返り、GX推進に向けた次のアクションプランを整理する。</p>
3	3	入門編	<p>エシカル経営入門 GX対応と持続可能なものづくり</p> <p>顧客の新しいニーズ「エシカル消費」を捉えた企業戦略を考えます。デザイン思考による顧客視点（世の中のトレンド）のサービス・ものづくりと、事例として今年度注目のGX（Green Transformation（脱炭素を通じた社会変革））について学びます。国際的なカーボンニュートラル実現に向けた流れを理解しつつ、その対応を一つの成長のチャンスと捉える動きが進んでいます。こうした企業の新たな動きと消費者の「エシカル」ニーズを踏まえて今後の経営をどのようにすべきか学びます。</p>	<p>【対面・オンライン】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. エシカル経営とは？ 15分 - エシカル消費の定義と企業経営における重要性を解説。 2. GX（グリーンTRANSフォーメーション）と持続可能なものづくり 15分 - GXの概要、カーボンニュートラルに向けた国際的な動きと、その対応を成長機会とする企業事例を紹介。 3. 顧客ニーズの変化: エシカル消費の台頭 10分 - エシカル消費とは何か、消費者の行動変化と新たなニーズの分析。 4. デザイン思考による顧客視点のものづくり 10分 - 顧客視点を取り入れたデザイン思考のアプローチを解説し、持続可能な製品・サービス開発のプロセスを紹介。 <p>【ワークショップ】</p> <p>説明20分⇒実践30分⇒発表・講評60分⇒まとめ10分</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自社の経営におけるエシカル対応の現状分析 - 実践: 受講者が自社の現状におけるエシカル経営の実践状況を分析。 - 発表: エシカル経営やGX対応における具体的な取り組みや現状の課題を発表。 - 講評: 講師から自社におけるエシカル経営推進のためのアドバイスを受ける。 2. 顧客視点を取り入れたエシカル商品・サービスのアイデア出し - 実践: デザイン思考の手法を用いて、エシカル消費を意識した商品やサービスのアイデアをグループで考える。 - 発表: グループごとに、消費者の新たなニーズに対応するエシカル製品やサービスを発表。 - **講評**: 講師から、実現可能性や市場ニーズとの適合性についてフィードバックを受ける。 <p>3. **自社経営におけるGX対応とエシカル経営の統合プラン作成** - **実践**: 受講者が自社の経営戦略にエシカル対応とGXを組み込んだ統合プランを作成。 - **発表**: 各自のプランを共有し、講師や他の受講生からフィードバックを受け、改善点を整理。</p> <p>4. **まとめ** - ワークショップの振り返りと、今後のエシカル経営およびGX対応に向けた具体的なアクションプランを整理する。</p>
4	3	入門編	<p>カーボンニュートラル実践～CO2算出量計算の仕方～</p> <p>カーボンニュートラルを目指すための第一段階として自社において現在のCO2算出量の概算を把握できるように具体的な計算方法を学びます。そして、自社においてどのような分野でどれくらいCO2算出量が削減できるかを考えます。とくに、原材料、電気使用量、輸送手段をエシカルに優れたものに置き換えることができなから考察します。</p>	<p>CO2算出の考え方入門CO2排出量計算の基礎</p> <p>- 実践内容:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 計算ワークショップ: - 企業データを基に、Scope 1、Scope 2のCO2排出量を計算する演習を実施。 - 計算式の理解を深めるためのワークシートを使用し、各ステップで結果を確認。 2. ケーススタディ: - 架空の企業のデータを基に、CO2排出量の計算を実施。 - グループでの作業を通じて、他の受講生と結果を比較し、違いについて話し合いフィードバックを受ける。